

令和7年度 第1回府中町総合教育会議 議事録（要旨）

日 時：令和7年4月23日（水） 15時00分～16時10分

場 所：くすのきプラザ 1階ギャラリー

出席者：町長 寺尾 光司、教育長 新田 憲章、教育委員 玉井 節夫、

教育委員 神原 謙治、教育委員 松本 真奈美、教育委員 米田 珠美

議 題：（1）教育振興基本計画の進捗について

（2）『第3次府中町教育大綱』の策定について

議事内容：

（1）教育振興基本計画の進捗について

● 資料1「令和5年度教育委員会事務点検・評価報告書」に沿って教育長及び教育委員より説明

● 町長意見

・ 全体的に指標を達成している項目が少なく、16指標中で達成した指標は5つとなっている。教育現場などではよく取り組んでいただいていると感じるが、指標設定が現場と合っていないのでは。公民館活動事業を例に挙げると、主催事業だけでなく、定期活動グループの活動数や地域還元回数などを指標に加えても良いのでは。

→ 指標（全国学力・学習状況調査の正答率30%未満の児童生徒の割合）については、平成30年に行われた基礎・基本を調査するA問題と活用力を調査するB問題から成り立つ全国学力調査を基に作成した。その後、国がB問題のみで学力調査を行ったため、指標との差がある。しかし、「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合」や「授業がよく分かる」と答える児童生徒の割合」は国の調査方法の変更と関係がないため、教員への研修等をさらに実施し、認識を深めていきたい。今後、指標の設定については、国の考え等を取り入れ、幅広い評価ができるよう適切な指標としたい。

・ 評価員の講評でも指摘されているが、力を入れた取り組みとその成果を示すことが大切だと思う。成果報告書に追加しても良いのではないかな。

→ おっしゃる通り、評価員である広島大学の曾余田教授から、町として当該年度に実際に力を入れた取り組みとその成果を示すことが重要であるとの指摘があった。令和6年度の事務点検評価においては、町として特に力を入れた取り組みや新しい取り組みに加え、町独自の取り組みを明記するとともに成果についてもしっかりとアピールをしていきたい。

（2）『第3次府中町教育大綱』の策定について

● 資料2—1「第3次府中町教育大綱案」、資料2—2「第2次府中町教育大綱」、資料2—3「第4期教育振興基本計画（国）における基本方針及び目標」に沿って町長及び総務企画部長より説明

● 教育委員意見

・ まちづくりにおいて、顔が見えることは大事だと思う。私は町内会にも関わっているが、お年寄り子どもたちが繋がることを目指している。

● 教育委員意見

- ・ 全国の市区町村勉強会において、府中町の取り組みを発表する機会があるが、特にコミュニティスクールの充実について評価を受けている。「第3次府中町教育大綱」でも引き続き、コミュニティスクールの充実に取り組んでいきたいと思う。
- 教育委員意見
 - ・ コミュニティスクールに関わっているが、北部の場合は人口が少ないので、地域によって進度の差がある。地域全体で助け合えるような枠組みを作っていきたいと思う。
- 教育委員意見
 - ・ 「第3次府中町教育大綱案」の説明にもあったが、下岡田官衛遺跡が府中町のシンボルとなるため、住民の方に更に知ってもらいたいと思う。他にも特産品等で府中町をアピールできるものが増えたら良いと思う。
- 町長意見
 - ・ 教育委員会において策定される「第3次教育振興基本計画」において、「第3次府中町教育大綱」の考え方を参酌いただきたいと思う。また、本大綱と整合を図る町の最上位計画である「府中町第5次総合計画」は現在策定中のため、本大綱の策定・公表は、関連する当該2つの計画の公表時期に併せたいと思う。

以上